

なぜわたしたちは差別を繰り返すのだろう

～在日朝鮮人の歩みから、日本と朝鮮の歴史を考える～

現在の日本で、在日朝鮮人として生きることの息苦しさを折に触れて感じます。
また日本人も、いろいろな生きづらさを抱えて生きているようにみえます。
なぜこんなに、みんな大変なのだろうか。偏見や差別はなぜ、なくなるのだろうか。
在日朝鮮人の歩みや日本と朝鮮の関係史を手がかりに、その一端を考えてみます。
(講師の金 耿昊 さんより)

2025年 7月12日(土) 午後1時30分～3時30分

講師 金 耿昊 (きむ・きょんほ) さん

敬和学園大学人文学部国際文化学科准教授。1984年、神奈川県生まれの在日朝鮮人三世。博士(学術)。専攻は在日朝鮮人史、日本近現代史。
著書に、『積み重なる差別と貧困 在日朝鮮人と生活保護』(法政大学出版社、2022年)など。最近の悩みは、2年前から新潟県新発田市に住み始め、ご飯がおいしすぎてつい食べ過ぎてしまうこと。それから5歳と3歳の娘の育児。



場所 生活クラブ生協本部会議室

川口市小谷場 206 (JR 南浦和駅徒歩18分)

参加費 1,000 円



終了後に講師を囲んで交流会を行います。
お時間の許す限りぜひご参加ください

※当日、金耿昊さんの書かれた記事が掲載された社会運動 456号を販売いたします。



●お申し込み・お問い合わせ



特定非営利活動法人 大人の学校

333-0857 川口市小谷場 206 生活クラブ生協内
TEL/FAX 048-423-3313
メール otonano-gakkou@cure.ocn.ne.jp